

ジョゼ・ラモス＝ホルタ氏 経歴

- 1949年12月26日、東ティモールのディリに生まれる。
- 1974年、フレテリン（東ティモール独立革命戦線）の設立に参加。1975年独立を宣言した東ティモール民主共和国では外務大臣の役職にあった。インドネシア侵攻以後は、国際社会の支援を得るため、国外で活動が続けた。長年にわたりニューヨークにおいてフレテリンの国連代表をつとめるなど、東ティモールの外交活動の中心的役割を担う存在であった。
- 1994年に欧州議会人権委員会で、東ティモール人の自決権行使を3段階によって達成しようとする和平案を発表し、注目を浴びた。また、1995年国連の仲介によって実現した「全東ティモール人包括対話」でも重要な役割を果たしている。
- 米国アンティオック大学で平和学修士を取得。1987年オックスフォード大学アンソニー・カレッジ客員研究員。ハーグ国際法アカデミーやストラスブール国際人権研究所で国際法の研修を受ける。オーストラリアのニューサウスウェールズ大学法学部で外交や国際機構についての教鞭もとっている。
- 1993年にトロロフ・ラフト人権賞、1995年にグライツマン賞を受賞した。1996年「東ティモールにおける紛争の正当で平和的な解決への尽力」を評価され、カルロス・フィリペ・シメネス・ペロ司教とともにノーベル平和賞受賞。
- 2002年5月 東ティモール民主共和国外務・協力担当上級大臣に就任。
- 2006年7月 東ティモール民主共和国首相兼国防大臣に就任。
- 2007年5月 東ティモール民主共和国大統領に就任。（2012年5月まで）

以上